

真宗研究 第三輯 目次

口絵 顯浄土真実教行証文類序 專信房專海筆

第四回大会研究発表(昭和三一、五、二六)

四種三昧の本尊について……………石田瑞磨(一)

行信兩卷の見方……………大江淳誠(九)

—安井氏の所説に就いて—

非僧非俗の實踐的意義……………川瀬和敬(二五)

真宗學に於ける伝統の本質……………禿諦住(三三)

大 小 一 揆……………北西弘(四三)

五念五正の關係……………小島 叡成 (五九)

真宗信者の社会的態度……………西光 義 敞 (六七)

—質問書法による調査を基礎として—

親鸞研究に於ける時代超時代両契機の分析……………二葉 憲 香 (八二)

大谷派に於ける異安心調理の方法……………松 谷 了 玄 (九三)

造悪無碍者と親鸞……………松 野 純 孝 (一〇三)

教行信証後序に就いて……………座 談 集 録 (一一六)

彙 報……………(一二六)